

いわしん 2014 ミニディスクロージャー誌

平成26年度上半期 経営情報
(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

お客様との約束7か条

1. 私たちは、明るい笑顔と心に届く元気な挨拶でお客様をお迎えします。
2. 私たちは、いつもお客様への思いやりと感謝の気持ちを忘れずに、誠実な対応をします。
3. 私たちは、常にお客様のことを第一に考え、わかりやすい言葉で親切・丁寧に、おもてなしの心で対応をします。
4. 私たちは、お客様からのご相談・ご要望にはスピーディーにお応えします。
5. 私たちは、お客様が気軽に立ち寄れ、何でも相談しやすい店舗づくりをします。
6. 私たちは、お客様との絆やコミュニケーションを大切にし、一人ひとりがお客様に感動を与えられる職員になります。
7. 私たちは、チャレンジ精神を忘れず、また慣習や前例にとらわれることなく、何事にも積極的に取り組みます。

《開示項目》

・主要な経営指標	2	・取扱商品のご紹介	5
・主要な経営諸表	2	・職域サポート「いわしん安心バリュー」の推進	6
・預金、貸出金の状況	3	・中小企業金融円滑化法への取組み	6
・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	3	・個人版私的整理ガイドライン	6
・自己資本の構成に関する事項	4	・地域密着型金融への取組み	7
・有価証券の時価情報	5	・地域社会貢献への取組み	8

主要な経営指標

(平成26年9月30日現在)

預 金	1,798億7,640万円	貸 出 金	1,003億9,980万円
自 己 資 本	180億9,390万円	組 合 員	40,162名
出 資 金	139億5,028万円	店 舗 数	16店
		役 職 員 数	200名

主要な経営諸表

○資産・負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

科 目	資 産 の 部		科 目	負 債 及 び 純 資 産 の 部	
	平成25年9月期	平成26年9月期		平成25年9月期	平成26年9月期
現 金	2,240	2,554	預 金 積 金	175,252	179,876
預 け 金	83,196	79,845	借 用 金	16,300	16,300
有 価 証 券	27,739	34,102	そ の 他 負 債	528	495
貸 出 金	98,956	100,399	賞 与 引 当 金	30	29
そ の 他 資 産	1,043	951	退 職 給 付 引 当 金	125	103
有 形 固 定 資 産	2,335	2,336	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	126	61
無 形 固 定 資 産	7	7	そ の 他 の 引 当 金	28	32
債 務 保 証 見 返	305	207	繰 延 税 金 負 債	193	341
貸 倒 引 当 金	△ 5,234	△ 4,593	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	124	124
(うち個別貸倒引当金)	(△ 4,002)	(△ 3,782)	債 務 保 証	305	207
			負 債 の 部 合 計	193,016	197,573
			出 資 金	14,059	13,950
			資 本 剰 余 金	1,975	1,975
			利 益 剰 余 金	819	1,206
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	507	895
			土 地 再 評 価 差 額 金	210	210
			純 資 産 の 部 合 計	17,573	18,238
資産の部合計	210,589	215,811	負債及び純資産の部合計	210,589	215,811

○損益の状況

(単位：百万円)

科 目	平成25年9月期	平成26年9月期	科 目	平成25年9月期	平成26年9月期
経 常 収 益	1,765	1,651	経 常 利 益	360	370
業 務 収 益	1,706	1,556	業 務 純 益	523	324
資金運用収益	1,485	1,445	特 別 利 益	3	15
(うち貸出金利息)	(1,148)	(1,117)	特 別 損 失	10	2
役務取引等収益	105	108	税 引 前 当 期 純 利 益	352	383
その他業務収益	115	2	法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	12	16
臨 時 収 益	59	94	法 人 税 等 調 整 額	—	—
経 常 費 用	1,405	1,280	当 期 純 利 益	339	367
業 務 費 用	1,182	1,231			
資金調達費用	109	99			
(うち預金利息)	(100)	(91)			
役務取引等費用	113	114			
その他業務費用	0	0			
一般貸倒引当金繰入額	△ 13	—			
経 費	972	1,017			
臨 時 費 用	222	48			

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

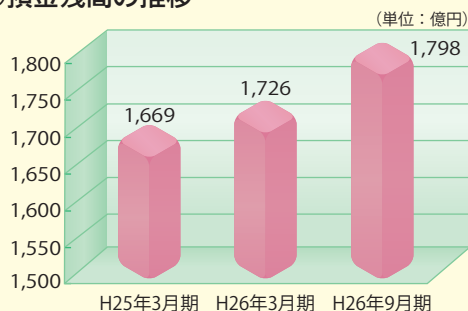
平成26年度上期の決算損益は、経営の健全化および効率化をすすめた結果、おかげさまでもちまして**業務純益 3億24百万円**（前年同期比 1億98百万円減少）、**経常利益 3億70百万円**（前年同期比10百万円増加）、**当期純利益 3億67百万円**（前年同期比27百万円増加）となっております。

預金・貸出金の状況

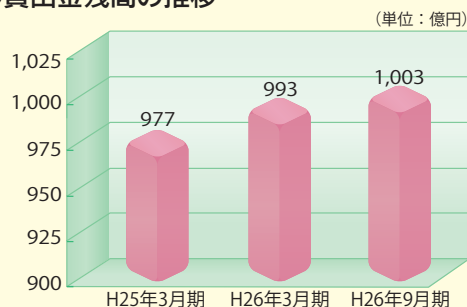
平成26年9月末現在の預金残高は1,798億76百万円（前期末比46億24百万円増加）であり、個人・法人のお客様の保険金・補償金等をはじめとした流動性預金の大幅な増加が要因であります。

平成26年9月末現在の貸出金残高は1,003億99百万円（前期末比14億43百万円増加）であり、地域の復興ニーズに即した事業性融資や創業・新事業支援等を積極的に推進した結果であります。

○預金残高の推移



○貸出金残高の推移



○貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業種別	平成26年9月期		〈参考〉平成26年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	5,153	5.13%	4,744	4.77%
農業・林業	228	0.22%	233	0.23%
漁業	191	0.19%	190	0.19%
鉱業・採石業・砂利採取業	325	0.32%	453	0.45%
建設業	13,492	13.43%	12,837	12.91%
電気・ガス・熱供給・水道業	565	0.56%	378	0.38%
情報通信業	261	0.26%	196	0.19%
運輸業・郵便業	1,897	1.88%	2,650	2.66%
卸売業・小売業	5,602	5.58%	6,434	6.47%
金融業・保険業	3,001	2.98%	3,001	3.02%
不動産業	12,421	12.37%	8,911	8.96%
物品賃貸業	32	0.03%	67	0.06%
学術研究・専門・技術サービス業	67	0.06%	71	0.07%
宿泊業	7,288	7.25%	6,823	6.86%
飲食業	1,217	1.21%	1,632	1.64%
生活関連サービス業・娯楽業	1,565	1.55%	1,605	1.61%
教育・学習支援業	65	0.06%	66	0.06%
医療・福祉	3,028	3.01%	3,033	3.05%
その他のサービス	6,139	6.11%	6,400	6.43%
その他の産業	48	0.04%	53	0.05%
小計	62,595	62.34%	59,785	60.15%
地方公共団体	2,377	2.36%	2,511	2.52%
雇用・能力開発機構等	-	-	-	-
個人(住宅・消費・納税資金等)	35,427	35.28%	37,085	37.31%
合計	100,399	100.00%	99,382	100.00%

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成26年3月期	4,566	4,000	566	4,566	100.00%
	平成26年9月期	7,480	5,101	2,379	7,480	100.00%
危険債権	平成26年3月期	7,366	3,000	2,824	5,824	79.06%
	平成26年9月期	4,158	1,704	1,403	3,107	74.71%
要管理債権	平成26年3月期	144	11	57	69	47.96%
	平成26年9月期	231	46	58	105	45.45%
不良債権計	平成26年3月期	12,076	7,012	3,447	10,459	86.60%
	平成26年9月期	11,871	6,852	3,841	10,693	90.07%
正常債権	平成26年3月期	87,766	-	-	-	-
	平成26年9月期	88,938	-	-	-	-
合計	平成26年3月期	99,842	-	-	-	-
	平成26年9月期	100,809	-	-	-	-
不良債権比率				平成26年3月期	12.09%	
				平成26年9月期	11.77%	

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

自己資本の構成に関する事項

金融機関の健全性を示す最も重要な指標である自己資本比率は、国内基準4%を上回る17.15%（平成26年9月末現在）となっております。

〈平成26年9月期〉

（単位：百万円）

項目	平成26年9月期	
		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目（1）		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	17,132	
うち、出資金及び資本剰余金の額	15,925	
うち、利益剰余金の額	1,206	
うち、外部流出予定額（△）	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	810	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	810	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、経過措置（自己資本比率改正告示附則第5条第7項）によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	150	
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	18,093	
コア資本に係る調整項目（2）		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	-	5
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	-	5
前払年金費用の額	-	74
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	-	
自己資本		
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	18,093	

項目	平成26年9月期	
		経過措置による 不算入額
リスク・アセット等（3）		
信用リスク・アセットの額の合計額	100,030	
資産（オン・バランス）項目	99,864	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△4,979	
うち、調整項目に係る経過措置（自己資本比率改正告示附則第8条第10項）により、なお従前の例によるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）に係るものの額	5	
うち、調整項目に係る経過措置（自己資本比率改正告示附則第8条第10項）により、なお従前の例によるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、前払年金費用に係るものの額	74	
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置（自己資本比率改正告示附則第12条第7項又は第8項）を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いずに算出したリスク・アセットの額を控除した額	△5,395	
うち、上記以外に該当するものの額	335	
オフ・バランス等取引項目	165	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	5,421	
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	105,451	
自己資本比率		
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	17.15%	

〈平成25年9月期〉

（単位：百万円）

項目	平成25年9月期
（自己資本）	
出資金	14,059
資本準備金	1,975
利益準備金	56
特別積立金	330
次期繰越金	433
その他有価証券の評価差損（△）	-
（基本的項目）計（A）	16,854
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	150
一般貸倒引当金	1,231
補完的項目不算入額（△）	596
（補完的項目）計（B）	785
自己資本総額（A）＋（B）＝（C）	17,640

項目	平成25年9月期
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	-
負債性資本調達手段およびこれに準ずるもの	-
期限付劣後債務および期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	-
（控除項目）計（D）	-
自己資本額（C）－（D）＝（E）	17,640
（リスク・アセット等）	
資産（オン・バランス）項目	95,711
オフ・バランス取引等項目	248
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	5,528
リスク・アセット等計（F）	101,488
Tier 1比率（A）／（F）	16.60%
自己資本比率（E）／（F）	17.38%

（注）上記2表は、協同組合による金融事業に関する法律第6条1項において準用する銀行法第14条の2の規定（銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実が適当であるかどうかを判断するための基準）が平成26年3月31日に新告示適用となったことから、平成25年9月期においては旧告示に基づく基準、平成26年9月期においては新告示に基づく基準で記載しております。なお、各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

有価証券の時価情報

○満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

項 目	平成26年9月期			〈参考〉平成26年3月期		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	200	205	5	-	-	-
その他	200	205	5	-	-	-
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	300	226	△ 73	500	414	△ 85
その他	300	226	△ 73	500	414	△ 85
合 計	500	431	△ 68	500	414	△ 85

(注) 時価は、基準日現在における市場価格等に基づいております。
上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

○その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

項 目	平成26年9月期			〈参考〉平成26年3月期			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債 券	26,683	26,002	680	20,852	20,368	484
	国 債	12,446	12,108	337	7,839	7,647	191
	地 方 債	1,227	1,178	49	1,246	1,205	41
	社 債	13,009	12,716	293	11,766	11,515	250
	そ の 他	6,285	5,728	557	5,151	4,800	350
小 計	32,969	31,731	1,238	26,003	25,169	834	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	債 券	298	300	△ 1	598	600	△ 1
	社 債	298	300	△ 1	598	600	△ 1
	そ の 他	37	37	0	397	397	0
	小 計	336	337	△ 1	995	997	△ 1
合 計	33,305	32,068	1,236	26,999	26,167	832	

(注) 貸借対照表計上額は、基準日現在における市場価格等に基づいております。
「社債」には、政府保証債、公社公債、金融債、事業債が含まれます。
上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

取扱商品のご紹介

〈詳しくは各支店または担当者までご相談ください〉

●法人、事業者のお客向け融資商品

- ・創業新事業支援資金「フロンティア」
- ・会計税理士連携ローン
- ・いわき商工会議所会員プレミアム融資
- ・ちいきの“力”5000・3000
- ・いわしんビジネスローン「みんなの力」
- ・いわしん災害復興資金「前進」
- ・福島県緊急経済対策資金
- ・いわき市中小企業不況・倒産関連対策資金
- ・いわき市中小企業融資制度
- ・ふくしま復興特別資金
- ・地域復興応援商品「エール（YELL）」

●個人のお客向け融資商品

- ・おとりまとめローン
 - 500万円までの消費者金融からの借入を一本化できます。(要審査)
 - 最長返済期間は7年～10年
 - 最高30万円までの上乗せ融資が可能です。
- ・スーパーフリーローン
- ・スーパーカードローン
- ・カードローン「ネクスト」
- ・マイホームサポートローン
- ・プレミアムフリーローン



- ・メモリアルローン
- ※詳しくは0120-212-334 総合ローンセンターまで
- 【毎週土日融資相談受付中】

- ・いわしん住宅ローン
 - いわしん金利選択型住宅ローン「えらべるくんプラス」
 - いわしん金利選択型住宅ローン「たすかるくん」
 - 長期固定金利型住宅ローン「いわしんフラット35」
 - いわしん災害復興住宅ローン

●子育て支援応援団

- 対象預金商品：定期預金・定期積金
- 対象融資商品：教育ローン・マイカーローン・おとりまとめローン

●定期積金

- 宝くじ付き定期積金「一載一遇」

●預金以外の資産運用商品

- ・個人向け国債（10年・5年・3年）
- ・投資信託（株式・公社債）
- ・生損保商品（年金保険・火災保険・その他）

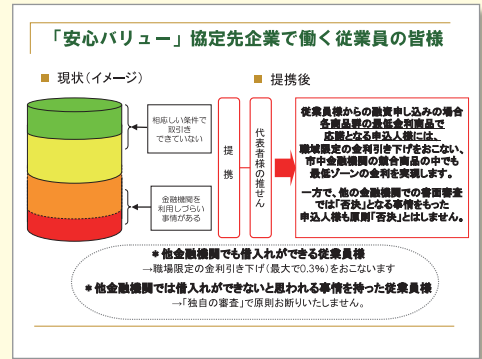
職域サポート「いわしん安心バリュー」の推進

いわしんは、復興・再生に懸命に努力されている地域の皆様方のニーズに対し、地域のなかに本店がある地元金融機関としての独自性を発揮して様々な施策をスピーディーに実行し、的確かつ迅速な対応を推し進めてまいりました。

そのような中、更なる地域密着型金融の実現をはかるために「地域とそこで暮らす人たち全てを丸ごと支える」という営業方針を掲げて、その実践活動の一つとして、職域サポートプラン「いわしん 安心バリュー」を推進しています。

これは、いわしんと事業先との相互信頼を基本にした従業員への福利厚生施策の一端を担うことを目的に、提携企業で働く従業員の支援を金融面から行うことで忠誠心・モチベーションを高め、もって事業の安定・発展に寄与することを目指すものです。

地域に暮らす生活者の皆様への新たな資金需要の創造を進めてまいります。



中小企業金融円滑化法への取組み

いわしんは、地域の金融機関として積極的な地域貢献への取組みを行うことが協同組織金融機関としての重要な社会的役割と認識し、貸付条件の変更等の申し込みに対する方針に基づいて地域金融の円滑化に積極的に取り組んできたところであります。

中小企業金融円滑化法の終了（平成25年3月末）後においても、いわしんのおお客様への円滑な資金供給や貸出条件の変更等の対応とともに、コンサルティング機能を発揮し経営改善支援・事業再生支援に取り組む方針が変わることはありません。

条件変更の取組み状況（平成26年9月末基準）

（件、百万円）

		中小企業のおお客様		住宅ローンご利用のおお客様	
		債権数	金額	債権数	金額
受	付	3,792	81,405	225	2,745
対 応	実 行	3,651	79,273	196	2,397
	謝 絶	38	806	10	123
	取 下 げ	66	840	19	225
審 査	中	37	486	-	-

個人版私的整理ガイドライン

いわしんは、東日本大震災の影響によって、住宅ローンを借りている個人の方等が、今後、これらの既往債務の負担を抱えたままでは、再スタートに向けて困難に直面する等の問題（いわゆる二重債務問題）について、同ガイドラインを利用することにより、個人である債務者の方々に対して、破産手続き等の法的倒産手続きによらず、私的な債務整理により債務免除を行うことによって、債務者の自助努力による生活や事業の再建を支援するよう取り組んでおります。

本ガイドラインに関するご相談は、最寄りのいわしんまたは個人版私的整理ガイドラインコールセンター（電話0120-380-883）、個人版私的整理ガイドライン運営委員会 福島支部（電話024-526-0281）までお問合せください。



地域密着型金融への取組み

●「ビジネスマッチング交流会」の継続的な開催

いわしんでは、お取引先の販路・仕入先の拡大など様々なビジネスニーズに対応するため、経営者交流会である「うるしの実クラブ」会員を中心としたビジネスマッチング交流会を平成19年度よりこれまで通算8回開催しているほか、会員同士のネットワーク拡充を目的とした情報交換会（懇親会）を年1～2回開催しており、平成26年9月末現在の会員数は572社に上っております。今後も会員間の情報交換、そして新たなビジネスチャンス拡大に向け、交流会を実施してまいります。



ビジネスマッチング交流会

●広域的な販路拡大に向けての対応

より広域的な販路拡大を希望するお取引先も多いことから、いわしんは信用組合のネットワーク等を通じ、首都圏で開催される商談会への出展支援を行っております。

【出店事例】

・「東京ビジネスサミット2014」

開催日：平成26年10月2日・3日

会場：東京ビックサイト

出展数：338社（430小間）

来場者数：17,018名

出展支援先：5社（平成26年10月20日現在、商談継続先延べ30件）



東京ビジネスサミット

●創業・新事業支援

いわしんでは、地域活性化の一助として、顧問契約を締結している中小企業診断士等の専門家が事業計画策定から融資後のフォローアップまでトータルサポートする創業・新事業支援資金（商品名「フロンティア」）を提供しており、平成23年1月の取扱開始以降、これまで53件346百万円の資金供給を行っております。また、創業・新事業を志す方々の発掘・育成ならびに起業家輩出により地域経済活性化に資する目的で、平成25年1月に「第1期いわしん創業塾」を開講。創業・新事業希望者を対象に専門家（中小企業診断士）を講師としたセミナーをこれまで3回開催し、受講された方のうち8名が創業・新事業支援資金「フロンティア」を利用し、起業しております。

【創業塾の開催】

年度	開催日	実質受講者数
平成24年度（第1期）	<開催済> 1/24～2/28（全6回）	23名
平成25年度（第2期）	<開催済> 10/8～11/12（全6回）	10名
平成26年度（第3期）	<開催済> 9/3～10/3（全10回）	16名
平成26年度（第4期）	<予定> 11/5～12/5（全10回）	-
平成26年度（第5期）	<予定> 1/28～2/27（全10回）	-



第4期創業塾

●補助金・助成金等の情報提供ならびに専門家相談の実施

いわしんでは、平成25年10月より経営者交流会「うるしの実クラブ」会員（平成26年9月末現在、会員数572社）向けに一斉ファックス送信による情報提供サービスを開始し、補助金・助成金等、有用と思われる情報の提供を積極的に行っているほか、外部専門家による補助金申請に係るセミナーの開催ならびに福島県中小企業団体中央会との連携による個別相談会を実施するなど、補助金採択に向けたきめ細かな支援を行っております。また、中小企業診断士等の外部専門家2名と顧問契約を結び、月5回、専門家による個別相談（無料）を実施しており、補助金・助成金等の申請や創業・新事業に係る相談、経営課題を抱える事業者からの相談等に対応しております。



合同個別相談会



ものづくり補助金セミナー

地域社会貢献への取組み

「しんくみの日週間」の取組み

お取引先のお客様、地域の皆様方にご協力いただき、地域に根ざした社会貢献活動やお客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施し、ご好評をいただいております。

- ・いわき市内施設等の清掃活動（勿来海水浴場周辺）
- ・各支店窓口にてお客様感謝デーを実施、粗品を呈呈
- ・各支店ロビーにて企画展等イベントの実施
- ・いわしん野球部による野球教室および親善試合の開催
- ・お客様にも協力いただいた献血活動（計5回）
- ・「いわしん絆寄席」の開催



三遊亭鳳楽師匠を招いての「いわしん絆寄席」



勿来海水浴場周辺での清掃活動



支店ロビーにてイベント開催



お客様および役職員 43 名参加による献血活動



福島県知事より感謝状

※約28年にわたり実施してきた当組合の献血活動が、福島県民の健康づくり推進への顕著な貢献活動と認められ、福島県知事より感謝状の贈呈を受けました。

地域イベントへの参加

いわしんは地元地域団体が主催する各種イベント等へ積極的に参加し、地域の皆様とのふれあいを通じ心豊かな町づくりに貢献しております。

- ・各地区主催のイベントに参加…好間町「好間わっしょい」、泉町ふるさと祭り「ごっちゃ市」他
- ・「いわきのまちをきれいにする運動」で清掃活動
- ・「いわきおどり」の市内各大会へ参加



店舗周辺の清掃活動



好間わっしょい